

# 研究所だより

第439号  
2022年 2月18日  
発行：土佐清水市教育研究所  
TEL 82-3015

“ 春は名のみ 風の寒さや 谷のうぐいす 歌は思えど  
時にあらずと 声もたてず 時にあらずと 声もたてず ”  
『早春賦』 大正時代(初期) 日本の歌曲



「梅一輪いちりんほどの暖かさ」と言いますように、梅の花も咲きほころび、木々では小鳥がさえずり、少しずつ春を感じさせてくれるようになりました。

全国的に感染力の強いオミクロン株による感染が拡大し、まん延防止重点措置が高知県も含め36都道府県に発令されています。今後も基本的な感染対策「3密回避、マスクの着用、手洗い・うがい」を徹底し、健康で安全な生活を心掛けるようにしましょう。

(指導と評価11・12月号) から

## 「ほめる」ことで成長につなげる

きしかわ ひろし  
岸川 央 氏  
(福岡教育大学・九州栄養福祉大学 非常勤講師)

子どもの良いところや頑張りに気づいた際には、その機会を逃さず、「ほめる」ことが大切です。大学の講義の中で、小中学生時代に、学級担任や部活動の顧問からほめられたことで、大きな自信につながり、その後の原動力になった経験をもつ学生が少なくないことを知りました。教育現場での教師の言葉かけがいかに重要であるかがうかがえます。

また、わたしが公立学校や教育委員会勤務時に、体罰を行った数名の教員を指導した際、「子どもをほめたことがほとんどない」との回答に驚きました。私は、学校現場において教職員と共に実践した、子どもの良い点を見つけ「ほめる」と「よりよい人間関係づくり」の重要性及びその教育的効果を実感しています。

教師が子どもに接する際には、その言葉かけは子どもにとって意味のある心に響くものでなければなりません。教師の言葉かけ一つが、子どもにとって大きな力となり、それ以降の成長に影響を与えます。言葉かけを間違えると、今まで積み重ねた教師と子どもとの人間関係(信頼関係)すら簡単に崩れる原因になります。愛情をもって「ほめる」ことで、子どもの自己肯定感を高め元気づけることができ、やる気にもつなげることができるのです。

### ○子どもをほめるポイント

#### ①子どもの成長を探し、ほめる

教師は、子どもをほめる重要性について理解していても、ついつい服装違反や言葉遣いなどの悪い点ばかりに目が向きがちです。子どもへのまなざしを短所・欠点探しから長所探しに改めることが大切です。そうすることで、子どもの成長が期待できるうえ、教師との人間関係も良好になります。

#### ②子どもの行動とその価値についてほめる

子どもにとっての行動の価値については、理解できるように丁寧に伝えることが重要です。その内容をホームルームや授業、部活動等の中で、周りの子どもたちにも広く伝え、全員で拍手したり本人に挨拶させたりすることで、行動の価値に気づかせることができます。この積み重ねにより、子ども相互にほめ合ったり認め合ったりする姿勢を自然に身につけていきます。

#### ③行動については、より具体的にほめる

「よく頑張ったね」や「よくできました」等の教師のひと言でも子どもにとっては大きな励みになります。しかし、より効果を高めるためには、例えば「バスケットボールが上手くなったね」だけでなく「あれだけ確立よいシュートが決められたのは、よほど努力をしたんだね」と、より具体的に言葉かけを付加することで、子どもは自信をもち、さらに練習に励むはずで

#### ④タイミングよくほめる

子どもが頑張っている姿を見つけたときには、その場でほめることが重要です。「忘れたころに「あの時は頑張っていたね」と言っても、間が抜けてしまい、子どもにとっては「なんで今ごろなの」とか「では今はどうなの」と不信感につながりかねません。時間をおかずに、タイミングよくほめることで効果が上がります。

#### ⑤努力のプロセスをほめる

日ごろから自分の意見を述べたり、リーダー性を発揮したりして目立っている子どもは、ほめられるチャンスも多いでしょう。しかし、引っ込み思案で日ごろ目立たない子どもは、どちらかと言うとほめられた経験が少ないものです。そこで、教師が観察力を身につけ、小さくてもよいのでその子の良さに目を配りほめることで、自信をもたせる機会を増やしたいものです。また、周りの子どもと比較するのではなく、成果につながらなくとも、その子自信の努力の積み重ねを見逃さず、そのプロセスに目を向けほめてやるのが重要であり、それが今後の大きな励みにもなります。



#### ⑥小さな努力と良さをほめる

ほめると言われても、「どこをほめるのか見つからない」という先生はいらっしゃらないでしょうか。特別なことをしたときだけほめるというスタンスにとらわれてはなりません。その子どもの小さな努力や良さに気づいたときには、積極的にほめるようにしましょう。「人の話をきちんと聞いている」「いつも時間を守れている」や「いつも笑顔で挨拶できる」など、探せばほめることはいくらでも見つかるはずで

#### ⑦ほめる場所を考える

皆の前でほめることは効果絶大です。しかし逆効果になる場合があります。1人の子どもを皆の前でほめたことで、周りの子どもから嫉妬をかい、最悪の場合いじめにつながることも考えられます。その教師の伝え方にもよりますが、全体の場で話す必要があるのか、それとも子ども本人を励ますだけのものかなど、教師の判断が求められます。要するに、別の場所で一対一でほめるのが効果的なのか、全員に伝えることで皆が賞賛し納得できるものなのか等を明確にすべきでしょう。

#### ⑧自信をもってほめる

ほめたけどうまくいかなかった。あまり上手にほめることができなかった等の経験をした先生もいらっしゃるのではないのでしょうか。

教師自身にとって、子どもの行為がすばらしくぜひ高く評価したいという気持ちが強ければ、自信をもって本人に明確に伝えなければならないでしょう。ほめることに慣れていない若手教師の中には、照れて小声になってしまうことがあります。子どもの成長に必要なだと強く感じたのであれば、本人にわかるように伝える必要があります。口ごもっていると、子どもは何を言われたのかわからず(ほめられたのかすら理解できないことも)中途半端な受け止めになってしまいます。

#### ⑨「ほめる」と「おだてる」ことは区別する

「ほめる」目的は、子どもを成長させるためです。他方「おだてる」目的は、最終的に教師自身の利益につながるが多いと考えられます。特にたたえる必要のない者や力関係の上の者を持ち上げるためなのがほとんどです。教師がその子どもとの人間関係をうまくつくり、その子の方が強い立場にいる場合、気をつかひすぎると本人との関係はますます悪化し、正常な関係に戻せなくなります。ほめるとおだて

るを区別し、子どもの成長にプラスかどうかを勘案して対応すべきでしょう。  
もしも生徒指導が上手く進まない場合には、1人で抱え込まずに学年主任や管理職等に相談し、チームで対応することが重要です。

#### ⑩次のステップへつながるようにほめる

その子どもの努力に対する賞賛の言葉かけで自信につながる者は多いはずですが、あくまでも子どもは成長過程にあり、そこが最終到達点ではありません。一つの段階をクリアしたら、次のステップへと導くのが教師の役目です。子どもは教師から認められることによって、自分の強さや能力に気づき、次のステップへ進むための意欲を換気できます。

例えば、日ごろあまり目立たない引っ込み思案の子どもが、合唱コンクールのパートリーダーの役目を全うした際に、「合唱コンクールでは、パートリーダーとして頑張ってくれてありがとう。ご苦労さまでした。おかげで学年優勝を勝ち取ることができました」とのほめ言葉のあとに、「今回、皆をひっぱることができ、リーダーとしての力が備わっていることがわかったので、次は、学級のリーダーとしても頑張ってもらいたいと先生は考えているよ」とその子どもの実力を認め、新たな目標を示すことで、次のステップ意欲づけになると考えます。

### ～第4回あすなろネットワーク～

1月27日（木）に第4回あすなろネットワークを開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面報告としましたので、実績だけの報告とさせていただきます。

（第1回～第3回までの実績については「研究所だより」で報告済み）

＝2021年度の実績＝

◎第1回 7月12日（月）「アイスブレイク、あすなろネットワークの概要、年間計画の確認」

◎第2回 8月23日（月）「事例から考える特別支援学級における指導・支援」

講師：清水小学校教諭 松下 泰将先生

◎第3回12月21日（火）「不登校の対応と理解」

講師：高知県スクールカウンセラー 小松 宏暢さん

◎第4回 1月27日（木） 中止（書面報告）

### ～第5回教研推進委員会～

2月15日（火）に第5回教研推進委員会を開催しました。本年度の教研活動の総括と来年度に向けての課題・申し送り事項等について協議しました。

#### 1. 2021年度の教研活動の総括（抜粋）

##### （1）年間の取組の反省

##### ①教研推進委員会

- ・教研活動をスムーズに運営するための話し合いができた。
- ・各校から代表者に参加してもらえることで、より全体の意見として集約できる。

##### ②教研活動

- ・総括教研では、それまでの取組についても情報の共有をすることができた。また、「清水の教育」について担当者を中心に共有することが必要ではないか。
- ・半日教研で研究授業、研究協議を行い、さらに各校の実践交流をし、深めることができた。半日教研を総括と兼ねると、実践交流や研修の時間が少なくなってしまうのではないか。

#### （2）来年度に向けての課題・申し送り事項

##### ①教研推進委員会

- ・学校代表者が意見を出し合う機会があったらいいと思う。
- ・高校との連携については、推進委員会の中で具体的に助言や調整等をしていくと部会の中でスムーズに進められる。

##### ②教研活動

- ・義務的なものという意識から、研修する機会として前向きに参加していく。
- ・中学校が1校なので、中学校の各教科の研究について小学校や高校とも連携をしていく方向で深めていけば、土佐清水市全体の学力向上につながると思う。

##### ③その他

ア. 総括教研について（抜粋）\*各校・各部会からは「必要」という意見が多かった。

- ・小・中学校の取り組みについて共有したり、来年度に向けての活動内容や引継ぎ事項などを共有できるため。
- ・半日教研で公開授業等をした場合は、そのあとの指導や生徒の変容について交流する場が必要である。

（紙面の関係で全てを記載できませんが、多くの意見をいただきました）

協議の結果、「総括教研」については「例年通りの位置付けとし、開催の方法については各部会で計画する」としました。

部会構成と条件は、下記のように決定しました。

なお、条件については「4校以上」から「3校以上」に変更しました。

##### ○部会構成（9部会）

研究部会：国語、社会、算数・数学、理科、外国語、情報教育、教育相談

専門部会：養護部会、事務部会

○成立条件：「3校以上の部員を必要とする」

#### 2. 2022年度 第1回教研推進委員会並びに市教研の日程について

[ 推進委員：小（6名）、中学校（1名）、校長会代表（1名）、指導主事（1名）、研究員（2名） ]

\* 推進委員長：校長会代表 副委員長：推進委員会で互選

#### ～2022年度の日程～

①第1回教研推進委員会：4月12日（火）16：00～ 会場：教育センター

②組織教研：4月20日（水）15：30～ 会場：清水中学校

\*各部会・研究協力校・研究会・研究主任等代表者会：5月予定

③一日教研：8月3日（水）

④半日教研：11月9日（水）

⑤総括教研：\*開催の方法については各部会で計画する

#### 3. その他

- ・2021年度研究集録「清水の教育」ファイル1冊・CD1枚を配布する。

